

総務常任委員会 行政視察レポート

視察テーマ

宮城県 : 1. 仙台空港アクセス線について
福島県双葉町 : 2. 東日本大震災(当時の状況・避難体制など)について
茨城県高萩市 : 3. 「My Rideのるる」について



通との結節強化について視察と意見交換を行いました。福島県双葉町では原子力災害からの復旧復興状況をご教示いただきました。茨城県高萩市ではA1オンデマンドバス事業について、研修および乗車視察を行いあわせて高萩市内の施設を2カ所視察しました。

今回の視察では、阿蘇くまもと空港アクセス鉄道計画と類似している仙台空港線を視察し、上下分離方式により運行をJR東日本、鉄道インフラの整備維持を第3セクターの鉄道会社が行っていました。また、中間駅想定と合致する美田園駅の駅本屋、ホームのデザイン、運行にかかわる施設と駅周辺の駐車場やバスベ이의整備状況を現地で確認でき、名取市公共交通の「なとりんく」などの結節の必要性も認識することもでき、大変有意義な視察となりました。

総務常任委員会は、令和7年11月17日より19日迄の3日間、宮城県、福島県ならびに茨城県を訪問し行政視察を行いました。

宮城県では仙台空港鉄道(株)を訪問し空港アクセス鉄道事業の概要と中間駅周辺整備、公共交通

経済建設常任委員会 行政視察レポート

視察テーマ

福岡県福岡市 : 1. 九州半導体産業展
福岡県新宮町 : 2. 都市計画マスタープランについて
熊本県上天草市 : 3. 商工会の取り組みおよび市との連携について TATUYAの取り組み



経済建設委員会は令和7年10月8日～10日に行政視察を行いました。

福岡市の九州半導体産業展では「なぜ半導体企業が熊本を選んだのか」という点で地政学的な観点での説明や九州半導体の歴史、県内工業団地の整備状況、半導体人材育成の確保の現在の状況などの講演を受けました。

新宮町での都市計画マスタープランに関する意見交換では都市計画マスタープランの中間見直しを行っている状況や官民協働による「災害時の支援活動拠点」となるモデル市街地づくりなどの説明を受けました。

上天草市の観光振興に関する意見交換では民間投資が行われた上でのインバウンドの動きや様々な企業が共存し、相互作用が起これ地域全体の価値が向上した事例、上天草デジタル商品券の状況など多岐にわたる意見交換でした。

人口増加や住民ニーズの多様化などにより、職員不足が続いている中、いかに民間の力を行政が活用していくのかを重点的に学ばせていただきました。

常任委員会からの政策提言

毎年総務常任委員会、経済建設常任委員会、文教厚生常任委員会では、町内の課題を抽出し、町執行部に対して課題解決のための政策提言を行っております。

令和7年度に関しても、各常任委員会から12月定例会最終日に議長を通して、町長へ提言を行いました。



総務常任委員会

- ① 町民にとって真に役に立つ公共交通の創出
- ② 役場窓口業務の外部委託の推進
- ③ DXの推進と「行かない役場」の環境づくり
- ④ 納税者の気持ちに沿った受益の確保と活用
- ⑤ 気候変動による熱中症から町民の生活を守る取り組みを

経済建設常任委員会

- ① 肥後大津駅周辺整備について
- ② 町道拡幅の整備について
- ③ 林道作業道の整備について

詳しくはこちらから↓



文教厚生常任委員会

- ① 大津町が多文化共生社会のよいモデルとなるための取り組み
- ② 大津町における特認校制度の拡充に関する提言

議会改革推進特別委員会の取り組み

設置期間 令和7年6月～令和8年12月
委員長 佐藤真二 副委員長 三宮美香
委員 面川秀貴 清原さおり 岩下啓史

昨年3月の改選を受け新たに「議会改革推進特別委員会」を設置し、6月から活動しています。前期は「議会活性化特別委員会」で議員のなり手不足対策に取り組み「投票できる選挙」の実現につなげました。

今期は「議会」と「議員」の活動の見える化や「議会機能の充実」などに取り組んでいきます。

主な取り組み項目

議員活動の見える化	議会HPへの個人SNS等リンク集の掲載 町内イベント等でのポスターセッション
議会活動の見える化	議会公式SNSの導入 議会ホームページの機能充実 町民（団体）との対話・議会イベント
議会機能の充実	議会としての政策提案の仕組みづくり 反問権の導入検討 第2次議会DX推進計画の策定と実施

中でも「議員活動の見える化」は、議員報酬の改定を審議した令和6年の特別職報酬等審議会の答申において「議員個人の活動が住民に伝わるような情報発信」が求められており、議会もその実現に努めることを決議しています。

議会ホームページでは、これまで会議の議題のみを掲載していたものに簡単な説明を加えたり、議員名簿の情報を充実させたり、委員会の審議記録を公開する

など、少しずつ充実していっています。

議会公式SNSも令和8年1月から開始（試行）しています。（右）

また、議員個人の情報発信を知らせるため、議会ホームページに個人SNSや、活動報告書などへのリンクを掲載しています。

しかし個人SNSの公表にはリスクが伴うものとの懸念もあり、運用ガイドラインを策定し、問題が発生した場合は掲載中止にすることとしています。

今後も成果を積み重ねながら、議会改革を推進していきます。



～議会・議員活動の見える化活動のひとつ～

みんなで行こう！オープン議場 with 福祉まつり

一昨年から始めた福祉まつりに合わせた「議場開放」、昨年は衆院選で実施できませんでしたが、今年は10月19日、「みんなで行こう！オープン議場with福祉まつり」を開催しました。200人を超える町民の皆さんが議場に入れ、議長席や町長席に座っての写真撮影など、普段はできない経験をさせていただきました。

また、少しでも議員のことを知っていただこうと、各議員の机の上に、趣味や一日の過ごし方など、プライベートな面も含め議員を紹介するポスターを掲示しました。



文教厚生常任委員会 行政視察レポート

視察テーマ

- 大阪府泉大津市：1. 泉大津市立図書館「SHEEPLA（シープラ）」の取り組みについて
大阪府泉南市：2. 「小規模特認校 泉南市立東小学校」の取り組みについて



翌日10月31日（金）、泉南市立東小学校を訪れました。令和7年度の全校児童78名のうち地元児童は15名、特認校制度利用児童は63名。市内全校区から制度利用可能、中学校進学は在住校区へ戻る。遠距離通学はデメリットだが、コミュニティバス運行と運賃補助により負担軽減が図られているなどの説明を受け、当町でも取り入れられる先進事例だと感じました。

10月30日（木）泉大津市立図書館「シープラ」を訪れました。平日の13時にも関わらず老若男女、多くの来館者が見受けられました。泉大津駅直結の商業施設4階フロア全体が図書館であり、買物ついでに立ち寄るのが利用しやすいなと感じていました。子どもの居場所として、「〇〇してはいけない」と禁止するのではなく、「お互いに快適な空間づくり」を唯一のルールとして掲げていることが、来館しやすい雰囲気づくりにつながっているとのことでした。「OKにする方法を、大人が考える」という館長の言葉に深く共感しました。

議会改革推進特別委員会 視察レポート

視察テーマ

- 福岡県 志免町・粕屋町：
1. 議会活性化の取り組みについて



策・施策にフィードバックされ、その結果は議会だよりで報告されます。

粕屋町は平成22年に策定された議会基本条例が実際に機能しているのかを検証するところから議会改革をスタートさせています。それを踏まえて基本条例で定められた項目に実効性を持たせるため必要の要綱を定めるなどドラステイックに取り組んでいました。

いずれも今後の大津町議会の取り組みの先例として参考になるものでした。

この他、令和7年7月26日に玉名市で開催された、「対話による地方議会改革フォーラム勉強会」にも研修として参加しています。

議会改革推進特別委員会は令和7年11月20日と21日に福岡県志免町・粕屋町の2か所を視察しました。

志免町の取り組みで特徴的なものの一つは動画やSNSを使った情報発信、志免町議と語る会などです。語る会は議員がファシリテーターとなってワークショップ形式で行い、出された意見は政